

流質燃料使用ニ伴フ一大缺點ハ其大ナル聲響ヲ發スルニアリシナリ
油函一箇ヲ瀛罐ノ上ニ置キ之ヨリ管ヲ以テ噴進器ニ導ク然レモ燃料
オイルタンク 蓄藏ニハ別ニ瀛罐ノ側ニ函數箇ヲ備付リ、
ボイラ タンク

○カンガル一號

伊太利政府ハ先キニ其所有船舶ノ内二艘ノ者ニ日日淡水二百五十ガ
ルロン〔一〕ガルロンハ我二升五合余ニ當ルヲ蒸溜スルニ足ル可キ裝置
備付ノヲチシヨン、カーガルデヒ一會社ニ依托セシニ今我接スル所ノ
報ニヨレバ其一ナルカンガル一號備付ノ配置ハ公試ノ際充分ノ結果
ヲ呈シ契約ノ分量ヨリ日ニ二十七ガルロン〔余分ノ蒸溜淡水ヲ製スル
ヲ得ルト云フ〕福地文一郎

○巴理府給水法計畫

リツター氏は瑞西國のチーフシャーテル湖より水を引き以て巴理全都
に清淨なる飲料水を供給せんと計畫をなせり同氏の説に因れば若

し其考案をして實施せしむれば巴理府中敢て清水に缺乏すること無く設令府中の人口増加して五百萬人の多きに至るも尙毎日一人に付き六百リートル即ち百三十ガルロンの淨水を給するを得べし且右湖水に流進する一流アール河は氷塊の水と受納するを以て夏日と雖も却て満水にして而も其温度頗る低し因て深八十メートルの所より水を引けば列氏十度乃至十二度の温度を以て淨水を巴理府に供給し得べし若夫れ此計畫に出ずしてレマン湖より引水すれば同府に到着する水の温度は二十度程となるべし又其入費を比較すればリツターの計畫は三億フランなれどもレマン湖引水工事は五億フランの概算なりといふさて右工事は落成迄凡そ五六年を要すれども竣工の上は同府民は清淨にして且未だ曾て之を口にせざる飲料水を立どころに得たるべし千八百八十八年一月六日アーキテクト(工學士中村達太郎)

○モルタル試験